

海外安全対策情報（2021年4月～6月）

1 社会・治安情勢

2018年4月発生の社会騒乱後、多発していた反政府派によるデモ等の抗議運動は、話し合いで解決する方向で進んでいること、警察がデモを許可しないこと等から発生していません。

ただし、本年11月には大統領選挙が予定される中、6月には複数の反政府側の立候補予定者が逮捕されており、今後、これに反発する反政府派によるデモ、集会等の抗議運動が、突然、発生する可能性があります。

また、ニカラグアは、「2018年の社会騒乱後の外国資本の撤退」、「新型コロナウイルス感染症の影響」による慢性的な経済不況下で失業者が増加、さらに恩赦により囚人を大量釈放していることも相まって、治安情勢が悪化しています。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

慢性的な経済不況に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による失業者が増加する中、昨年から本年にかけて、政府は一般囚人を大量に釈放しているため治安情勢が悪化しています。

ニカラグアでは、オートバイ乗りの男二人組による路上強盗、タクシー強盗、バス内での拳銃を使用した強盗、コンビニ強盗が発生しています。犯人は必ず拳銃、刃物等の凶器を携帯し、被害者が抵抗した場合、容赦なく攻撃するので、万が一被害に遭ったときは、絶対に抵抗しないことが重要です。さらに、強盗等の被害事例を分析すると、日時・場所を問わず、路上を歩行中に被害に遭うことが多いため、移動の際には、たとえ短い距離であっても自家用車両を利用することをお勧めします。

また、不在中の住宅に侵入し現金等を窃取する盗難事件が発生しておりますので、現金等の貴重品は確実に金庫等の安全な場所に保管するようお願いします。

(2) 日本人の被害例

ア 2021年

これまで日本人の被害は確認していません。

イ 2020年

● 窃盗（客室狙い）

9月11日（金曜日）午後1時から午後6時半までの間、マナグア市メトロセントロ付近に所在のアパートにおいて、居住者が外出した際、何者かが侵入し、スーツケース在中の現金を盗んだ。

ウ 2018年・2019年

● 恐喝

2018年3月14日（水曜日）午後8時30分頃、被害者がマナグア市ロス・ロブレス地区の路上を一人で歩行中、前方から来た男に所持していたカバンを渡すよう要求されたため、危険を察知した被害者が即座に鞆を差し出したところ、男は危害を加えることなく、仲間の男と共にオートバイで逃走した。

● 強盗（拳銃使用）

2018年6月6日（水曜日）午後2時30分頃、被害者2名がマナグア市ビジャ・サンタフェ地区の路上を歩行中、後方から来たバイク乗りの二人組に拳銃を突きつけられたため、所持していた鞆を差し出したところ、男らは危害を加えることなくオートバイで逃走した。

● 強盗（刃物使用）

2018年12月14日（金曜日）午後6時頃、マナグア市内のショッピングセンター「ガ

レリア・サント・ドミンゴ」付近路上を被害者2名が歩行中、若い男ら5、6名が後方から接近し、ナイフを突きつけて脅迫したため、所持していた鞆を差し出したところ、男らは危害を加えることなく走って逃走した。

● 窃盗（置き引き）

2019年10月8日（火曜日）午後4時頃、被害者は、リバス県からコスタリカ行きのバスに乗車し、その際、旅券・現金・パソコン・カード類等在中のリュックサックを網棚に乗せたところ、下車時に盗難被害に気づいたもの。

(3) 4月から6月に発生した凶悪犯罪の例

ア 強盗（拳銃使用）

4月30日（金曜日）マナグア市第6管区ビジャ・サン・ハシント地区において、女性（34歳）が子どもを抱いて座っていたところ、男がナイフを向けて脅し、携帯電話とウエストポーチを奪い逃走した。

イ 強盗未遂（拳銃使用）

5月5日（水曜日）午後3時40分、マナグア市コロニア・セントロ・アメリカ地区において、両替商の女性2人の乗車した車両が、赤信号で停車した際、2人乗りのバイクに拳銃を突きつけられ、後部ドアを開けるよう脅迫されたものの、運転席の女性が応じなかったため銃撃を受け、左肩を負傷した。

ウ 強盗（拳銃使用）

6月9日（水曜日）午後3時、マナグア市第5管区コロニア・ニカラオ地区の公道において、男性が現金を数えていたところ、2人の武装した男に銃撃され、現金1万5千コルドバ、携帯電話、バイク等を奪われた。

3 テロ・爆弾事件発生状況

発生なし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 日本人・外国人に対する誘拐事件

認知していない。

(2) ニカラグア人に対する誘拐事件

・ 女兒誘拐

6月6日（日曜日）午後、「マナグアーファイガルパ」行のバス内で、女兒（3歳）が、同伴の女性が寝ている間に、何者かに連れ去られたもの。その後、その後、女兒は発見・救出され、40歳女性が逮捕された。（手段・動機等の詳細は不明）

5 日本企業の安全に関する諸問題

日本企業が、当国において直接標的とされた脅迫、破壊行為、嫌がらせ行為等の被害を受け、またはバッシング、デモ等の対象となった事案は発生なし。